

## ☆今月の内容

- ごあいさつ
- 特集  
あいち産業科学技術総合センター 平成29年度事業計画  
・運営方針／事業計画（ものづくりイノベーション創出、中小企業・小規模事業者の企業力強化）
- トピックス&お知らせ



### ごあいさつ

この度、平成29年4月付けをもって、あいち産業科学技術総合センターの所長として着任いたしました。新年度を迎え、ご挨拶申し上げます。

日本経済はアベノミクスにより円安と株高が進み、自動車などの輸出の増加がみられるようになりました。しかし、国民には経済回復の実感がなく、内需の伸びは弱い状態が続いています。また、トランプ米政権が誕生し、保護主義的な政策に対する不安や欧州の政治情勢の不透明感から景気の先行きは厳しいと考えられています。

このような経済情勢の中、経済産業省の工業統計調査では、愛知県の製造品出荷額等は43兆8千億円で、昭和52年以来38年連続で全国第1位となっています。今後も引き続きモノづくり産業を振興していくためにはナノテクノロジーを活用した付加価値の高いモノづくりが重要です。

愛知県では付加価値の高いモノづくりを支援するため、高度計測分析機器とシンクロトン光利用施設を整備した「知の拠点あいち」を設置して6年目となります。「知の拠点あいち」ではモノづくりイノベーション創出を目指し、平成23年度から27年度までの5年間「重点研究プロジェクト（Ⅰ期）」を実施し、多くの成果を残して終了しました。その成果を技術移転・普及するため、あいち産業科学技術総合センター本部と産業技術センター、食品工業技術センターに「成果活用プラザ」を設置し、成果の普及に努めてきました。今後もより一層の普及に努めてまいります。

昨年度からは「重点研究プロジェクト（Ⅱ期）」を開始しています。研究期間は平成28年度から30年度までの3年間とし、研究成果の速やかな展開を目指しています。また、県内産業への普及を促すため、センター職員が全ての研究プロジェクトに参加して研究者とのネットワークを築き、事業を推進しています。

各技術センターでは県内モノづくり企業に対する技術支援として、技術相談・指導、依頼試験、研究、情報提供、人材育成等の幅広い事業を行っています。今後も企業の皆様に信頼され、お役に立てる技術支援機関としての職責を全うしていきますので、今後ともなお一層のご利用とご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成29年4月

あいち産業科学技術総合センター  
所長 加藤 和美